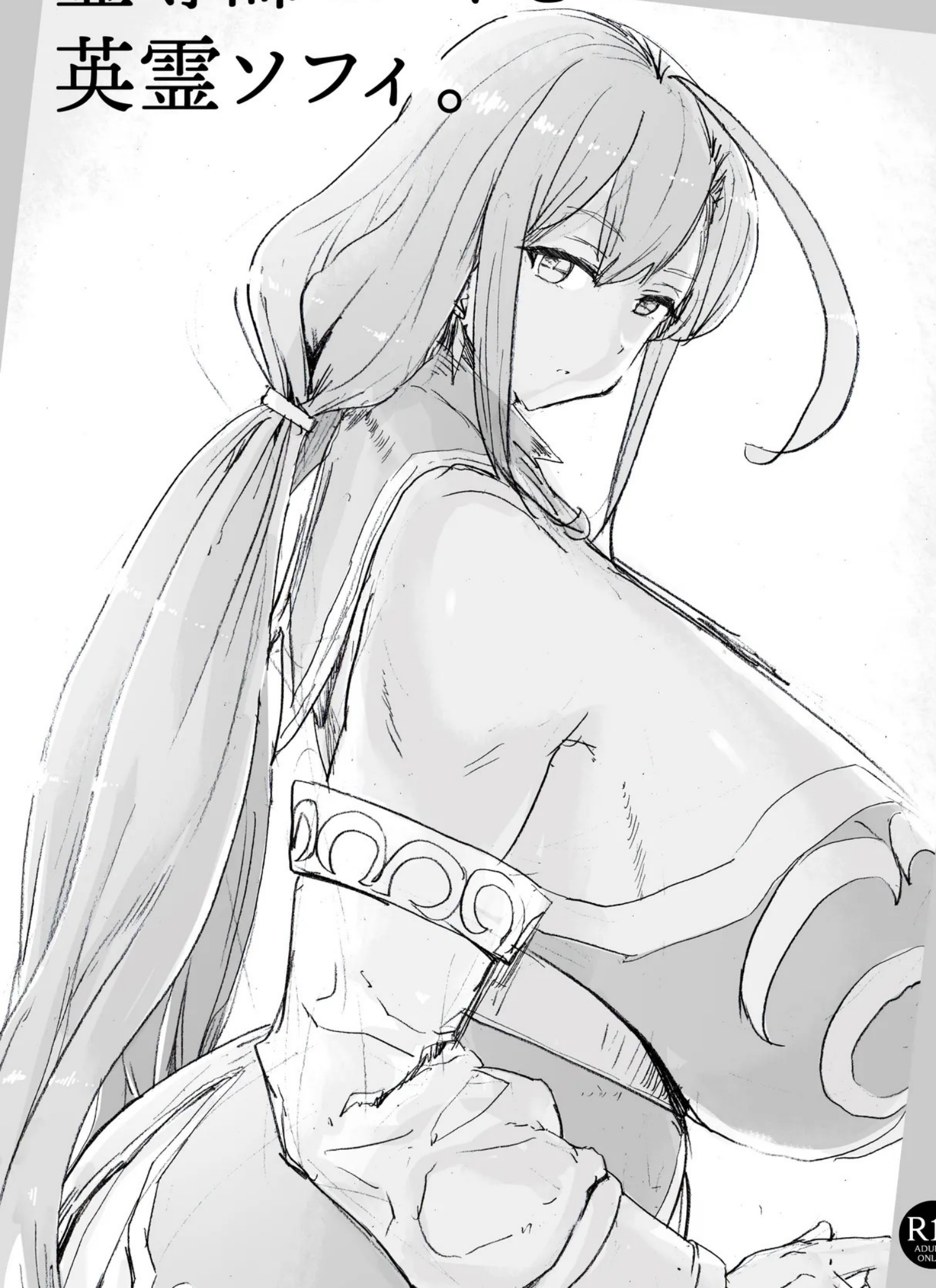


靈導師ミルトと 英靈ソフィ。



とある奥深い森の中

この少年は
霊導師ミルト

女装が趣味というちょっと
変わった少年である

べつにいいでしょ

ここだ…

強い霊気を
感じる…

間違い無い
英霊の気だ！

よし!
今度こそ
成功させるぞ……!!

…神々の時代を
生きし者よ…

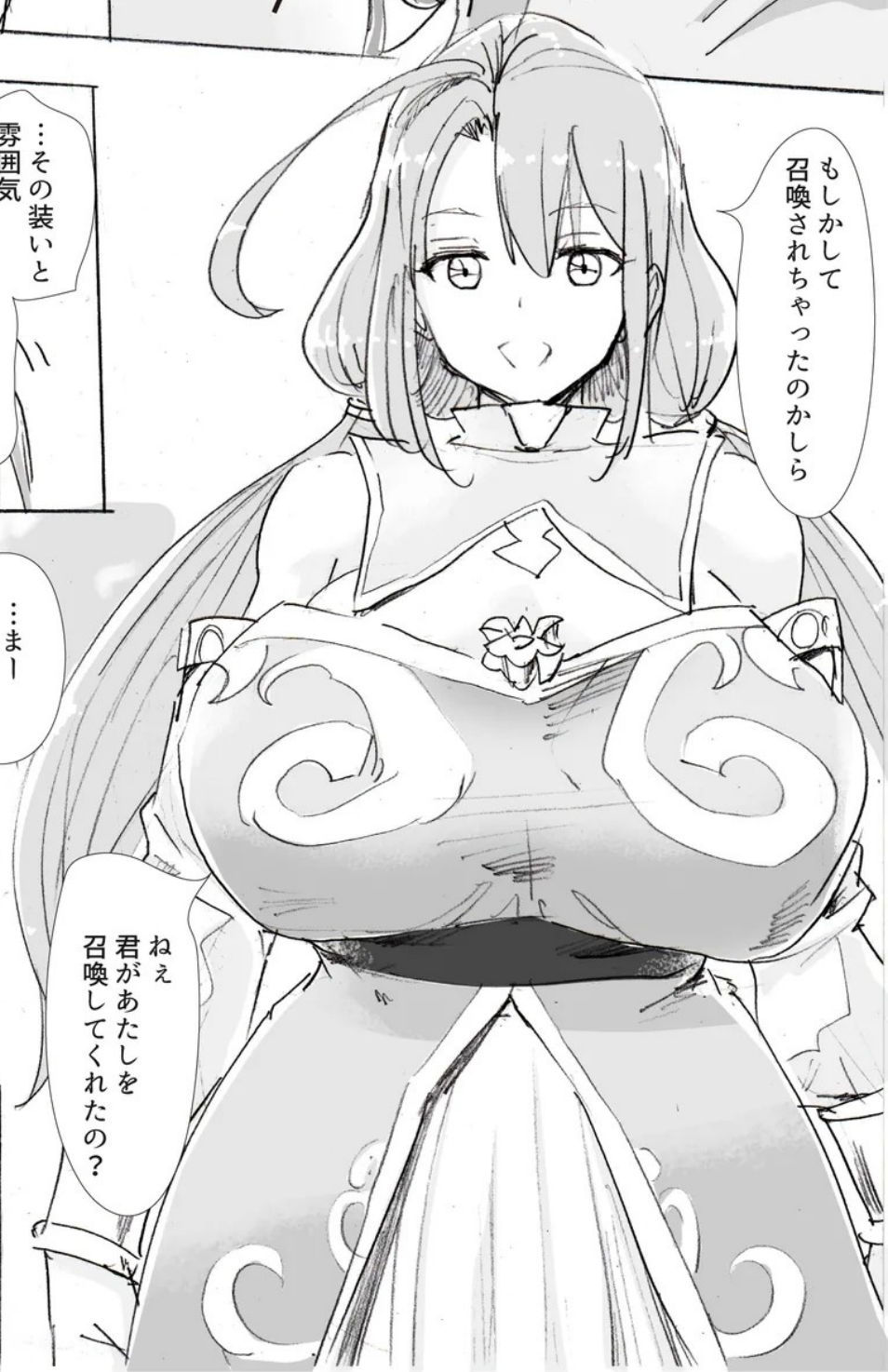
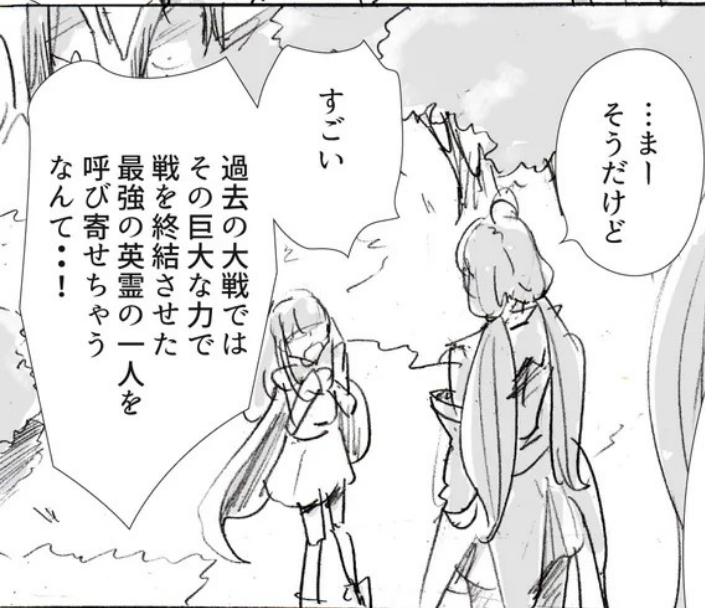
我が前に現れ
その力を授けたまえ…

靈導師とは古の英霊を
現世に召喚するという
特別な力を持った者である

来たっ……!!

強いっ!
なんて、大きい靈氣だ!!





そして英霊ソフィーと
靈導師匠ミルトの
共同生活が始まる

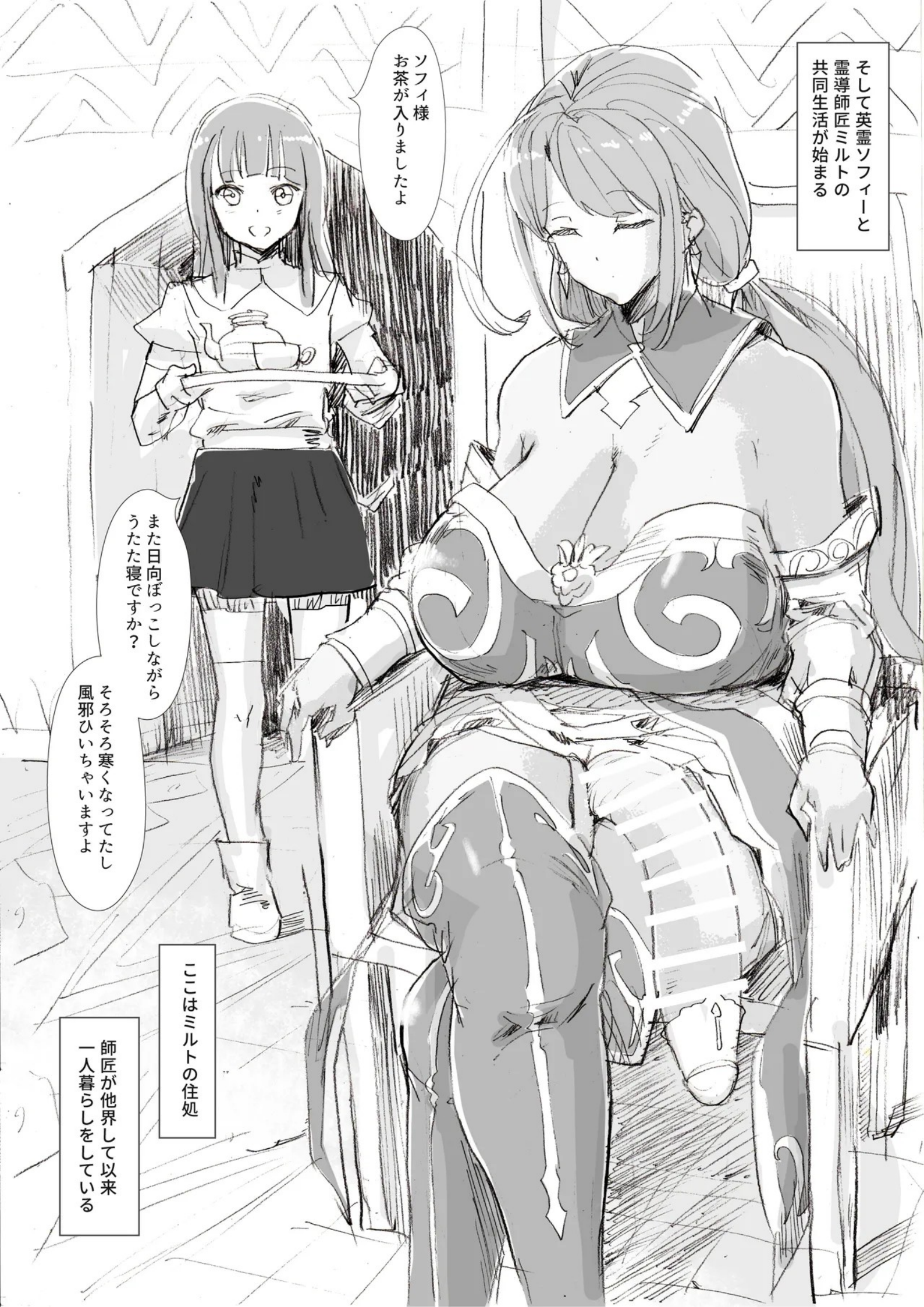
ソフィー様
お茶が入りましたよ

また日向ぼっこしながら
うたた寝ですか？

そろそろ寒くなつてたし
風邪ひいちゃいますよ

ここはミルトの住処

師匠が他界して以来
一人暮らしをしている





お茶もいいけど

ちよつと
その前に...

...かふふ

じゃ
しちゃおつか...

英霊ソフィ
両性具有の英霊で
最強の英霊の一人
逞しい巨根の持ち主でもある

英霊として現世に現れても
その精力は衰えていない



あごが
ちよつと痛いよ……



最初は困惑したものの
この淫らな展開にも
慣れはじめたミルト

これがソフィ様の
お〇んちゃん

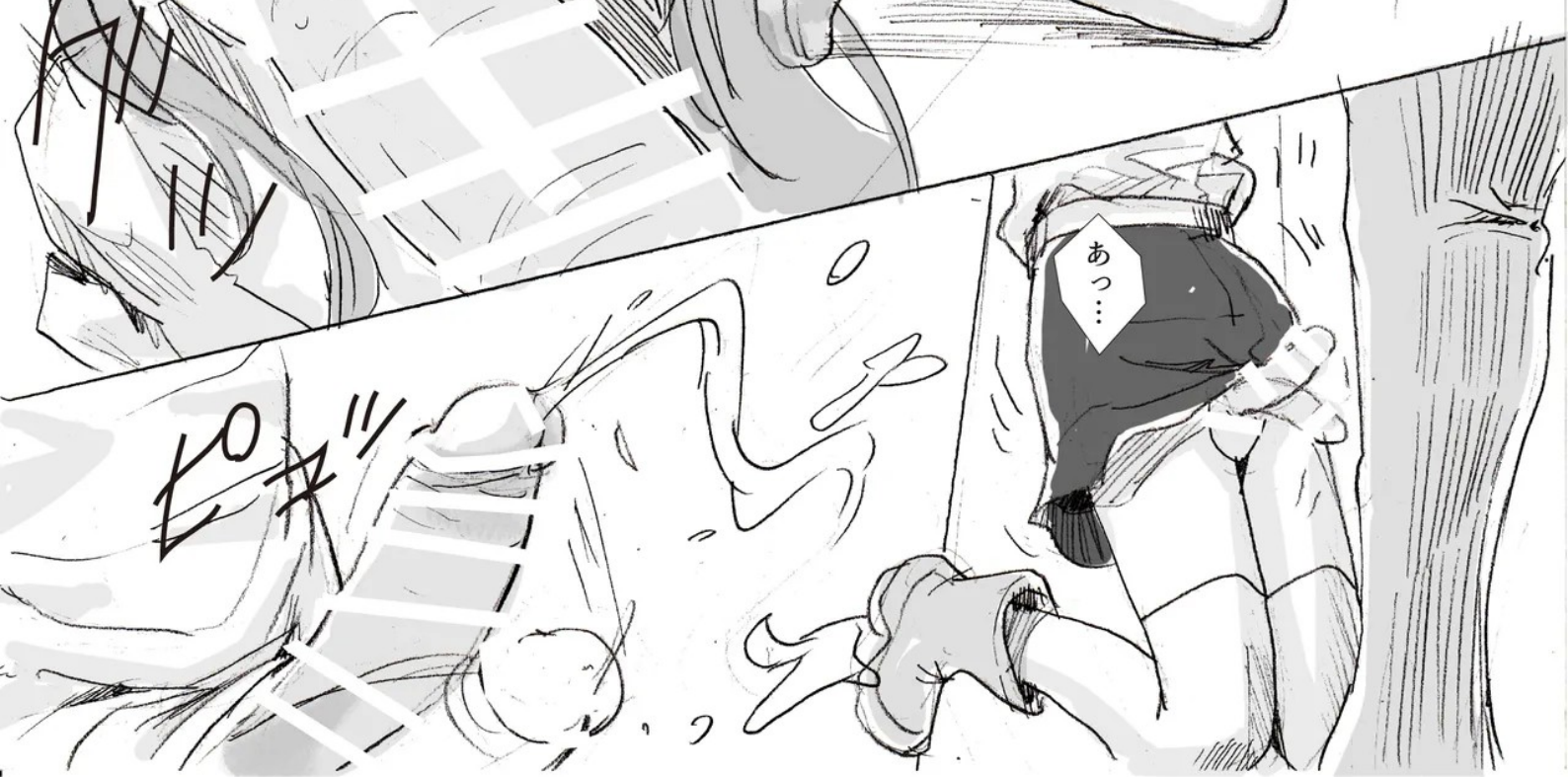


大分上手に
なってきたわね

すごい
相変わらず
おっきい……!

こんな
感じで……

でももう少し
強めにやって
ほしいかも……



あっ……

もう……くわえた
だけでイっちゃう
なんて

ミルトは本当
変態くんよね……

……はい
では失礼します

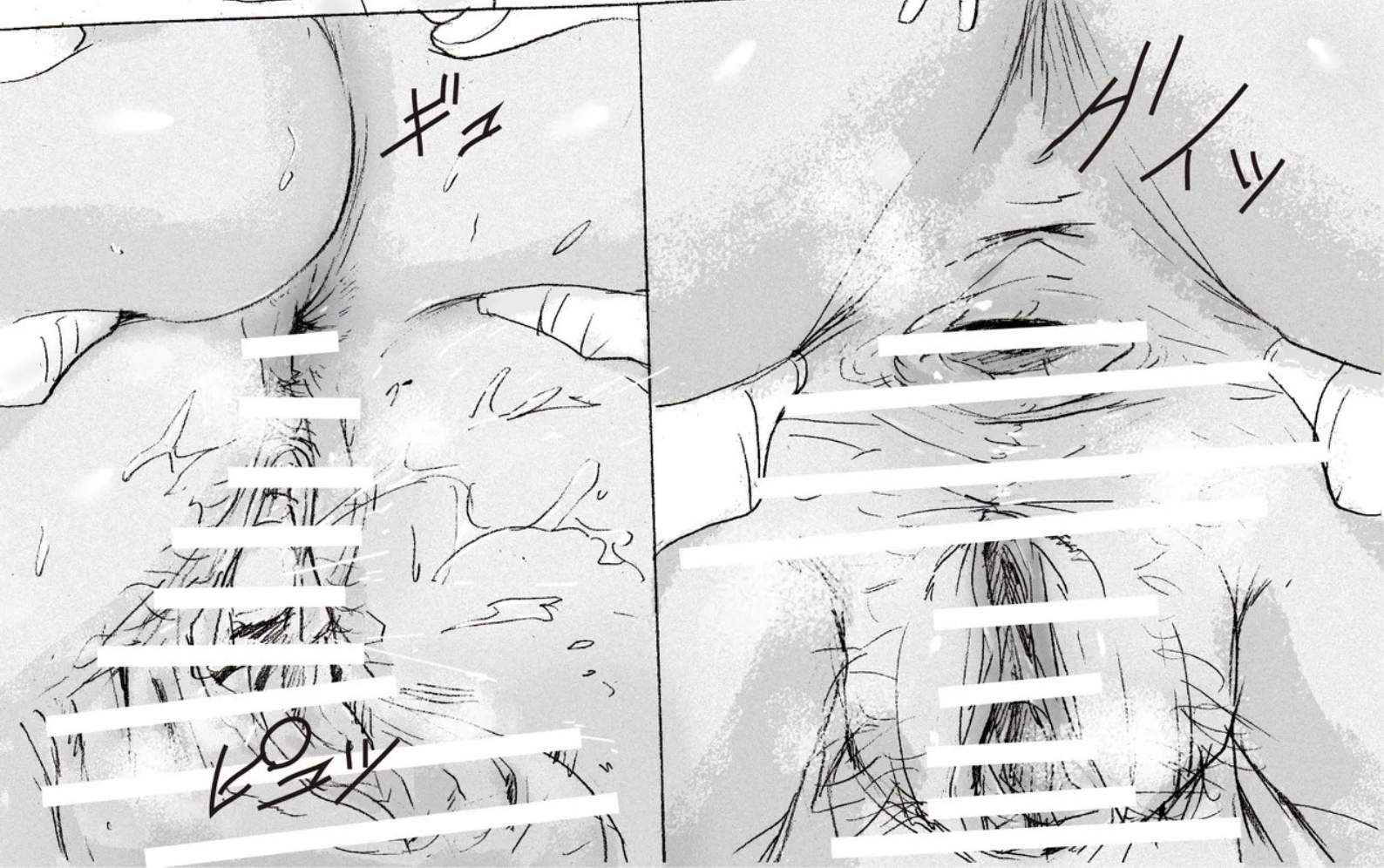
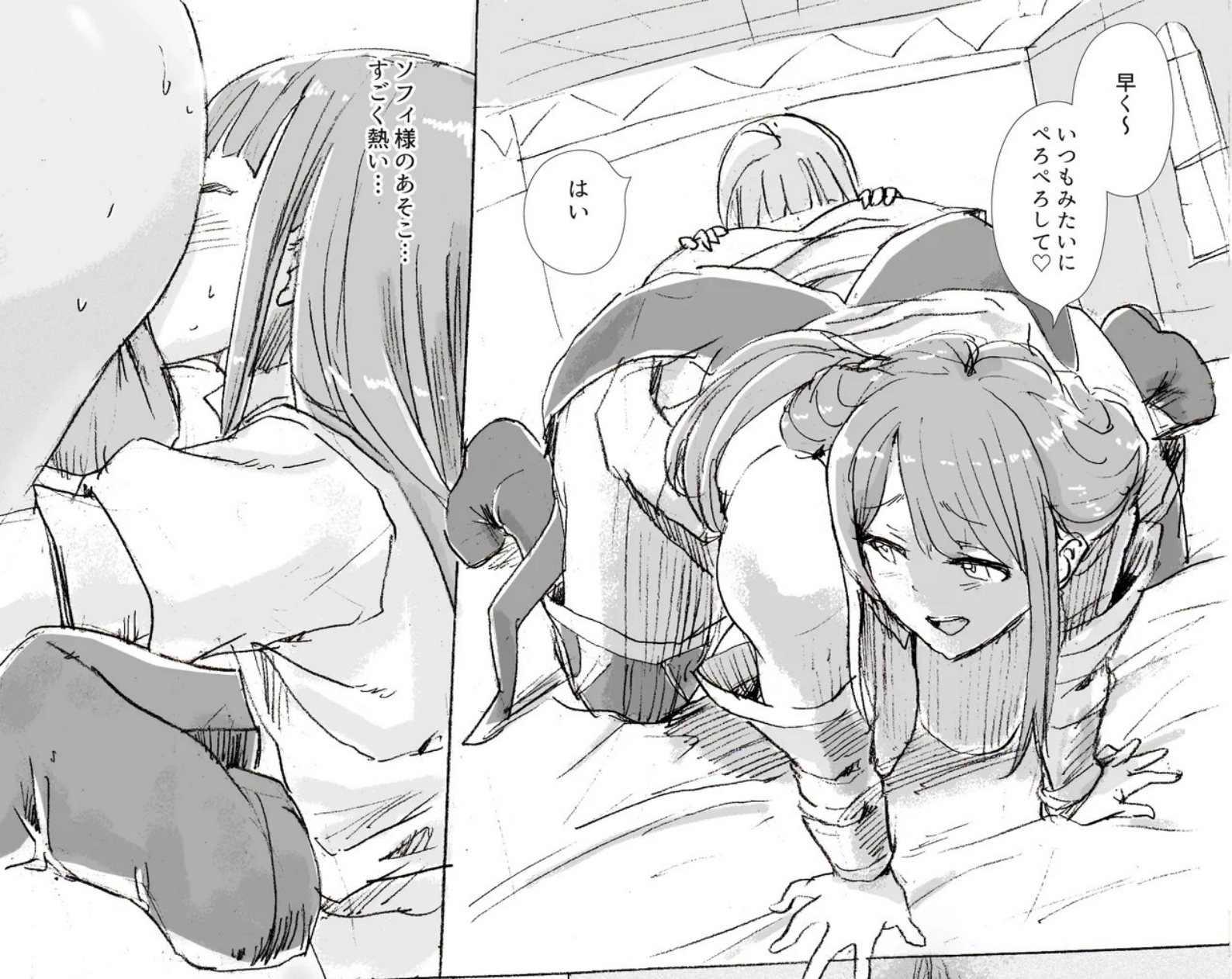
ソフィ様の
おつきいお尻

じゃあ
こつちもお願いね♡

すごく深くて
奥が見えない……

あ

クハッ





はあ
はあ

お尻
入れちゃうね...

パッパッ
パッパッ

おっぱい

おっぱい

おっぱい
おっぱい



ふふふ…
結構入ってきた

今日は1/3
くらいまで入れちゃおっか!

ソフィ様:
少し痛いです…

ちょっと
我慢して…

でもそろそろ
快感に変わってくる
と思うわよ…



あっ…
あっ…

ピクッ

ダググ…

あらあら

もうおしまいかしら

はーっ
はーっ

でもそんな
格好してると

また入れたく
なっちゃうわね

ソ：ソフィ様
ちよっと待って下さい

たっぷり中に
流し込んであげるわね

霊力や魔力だけでなく
腕力や体力においても
完全にソフィが
上回っているため

一方的にペースをもって
いかれてしまう

狭くて
気持ち良いい:

あーん..
イクっ.....!!



また別のある日

……

はい



うーん…

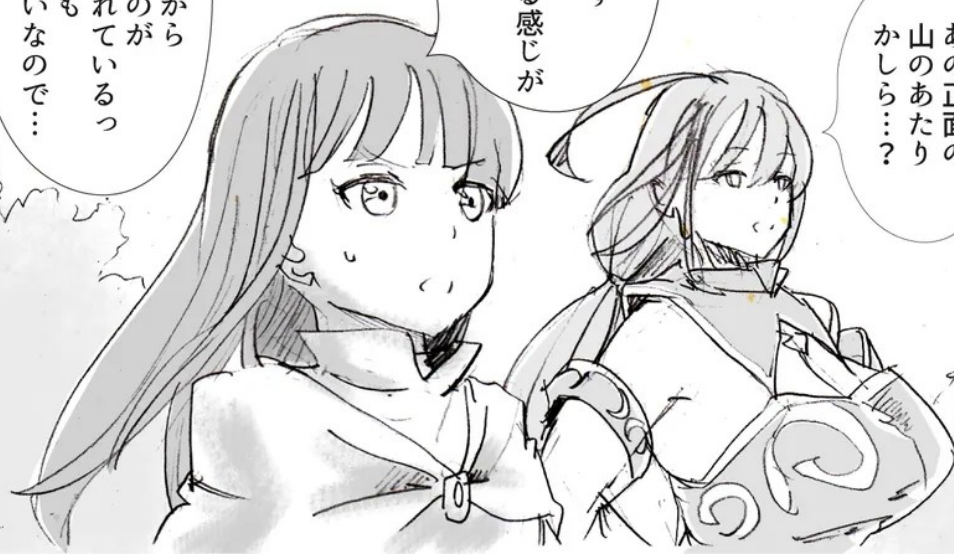
あの正面の
山のあたり
かしら…？

そうなんです
悪い霊気が
溜まっている感じが
するんです

あの空域から
魔界のものが
生み出されているっ
ていう噂も
あるくらいなので…

確かに
邪悪な気が少し
流れ出ている
みたい…

ソフイ様
あの空域をあなたの力で
浄化していただけ
ませんか？



僕があなたを召喚したのも
これが目的なんです！

この世界には
こういう場所が
まだまだたくさん
あるみたいなので

英霊の力をお借りして
世界から悪の気を
浄化したいんです！

まーいいわよ
ここはあなたの
真つ直ぐな気持ちに
答えてあげましょう

要はあの瘴気を
空間の歪みごと
消し去っちゃえば
いいんでしょ…？

顕現せよ…！

聖剣
レーヴァテイン…！

レ…
レーヴァテイン…！

あの大戦で
残酷な魔王軍を
僅か三振で壊滅させたという
伝説の聖剣ですね！

ちよっと
離れてね

はいっ！

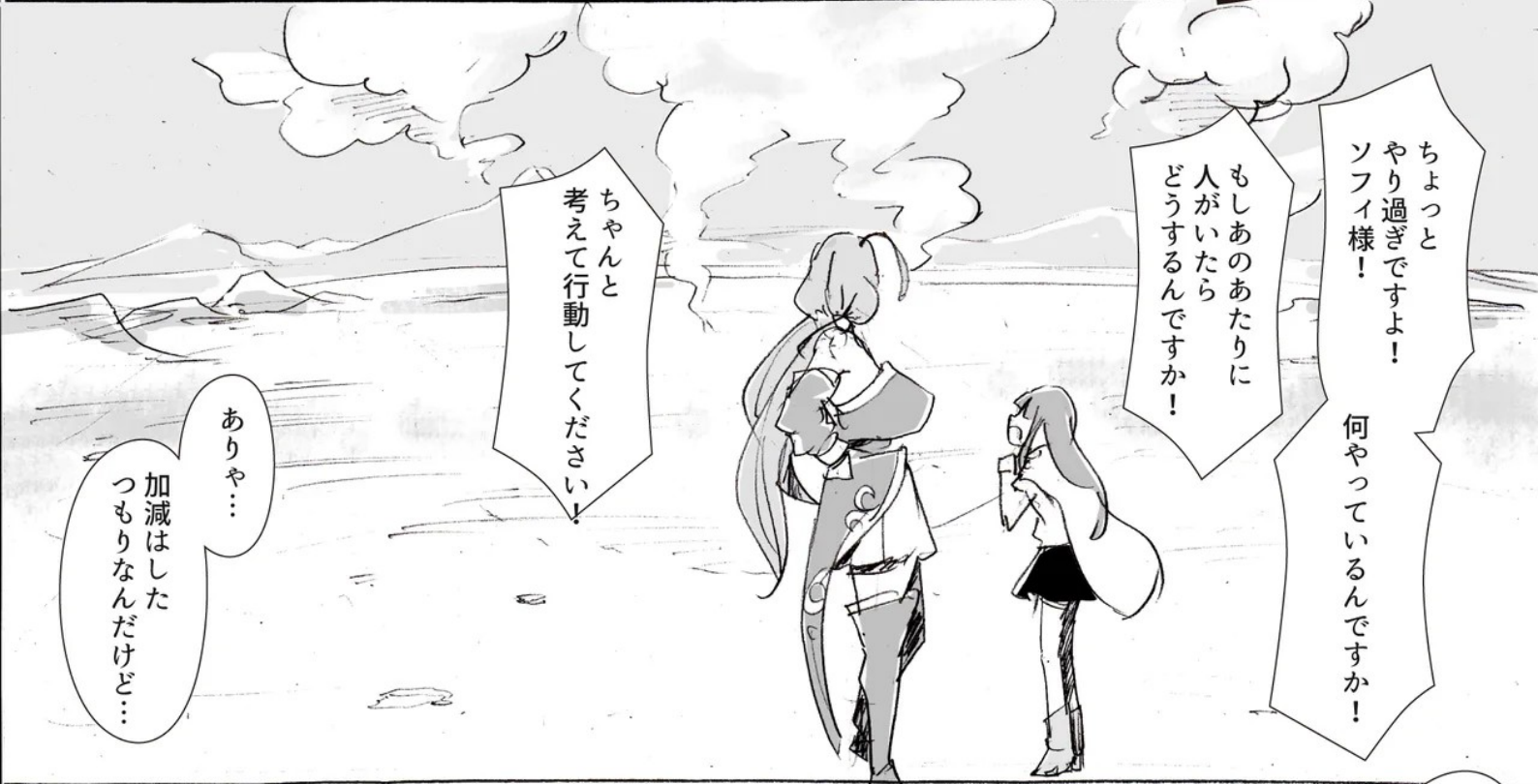
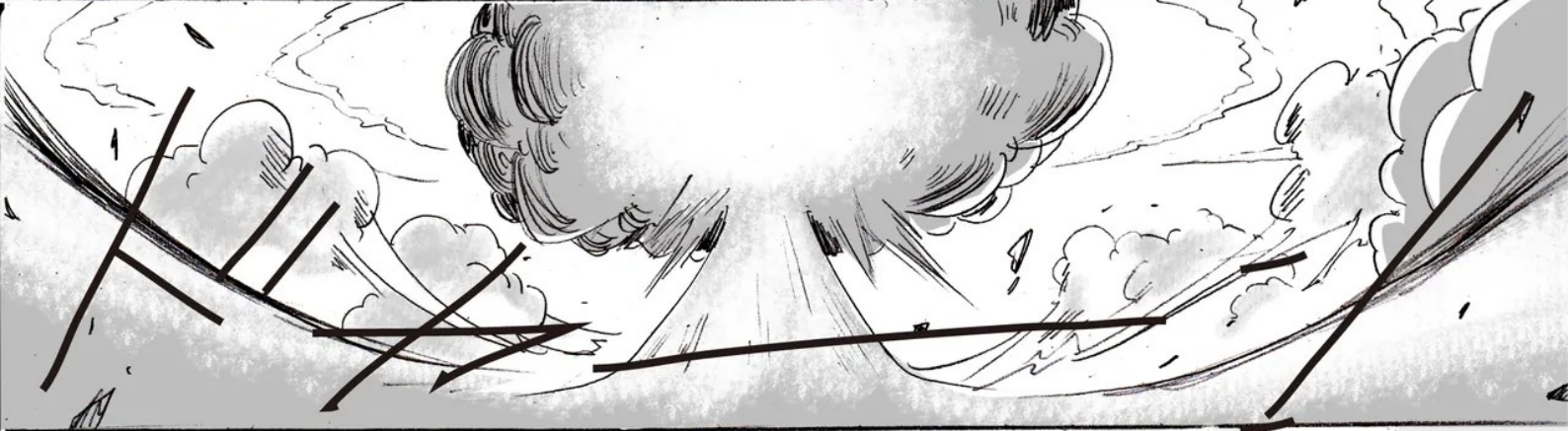
……って
いや、いや……！
ちよつと待ってください
ソフイ様……！

あんな小さな
瘴気の溜まり場に
その聖剣を
振り回すのは
いくらなんでも……

消し飛びな……

さい！





ちよっと
やり過ぎですよ！
ソフィ様！

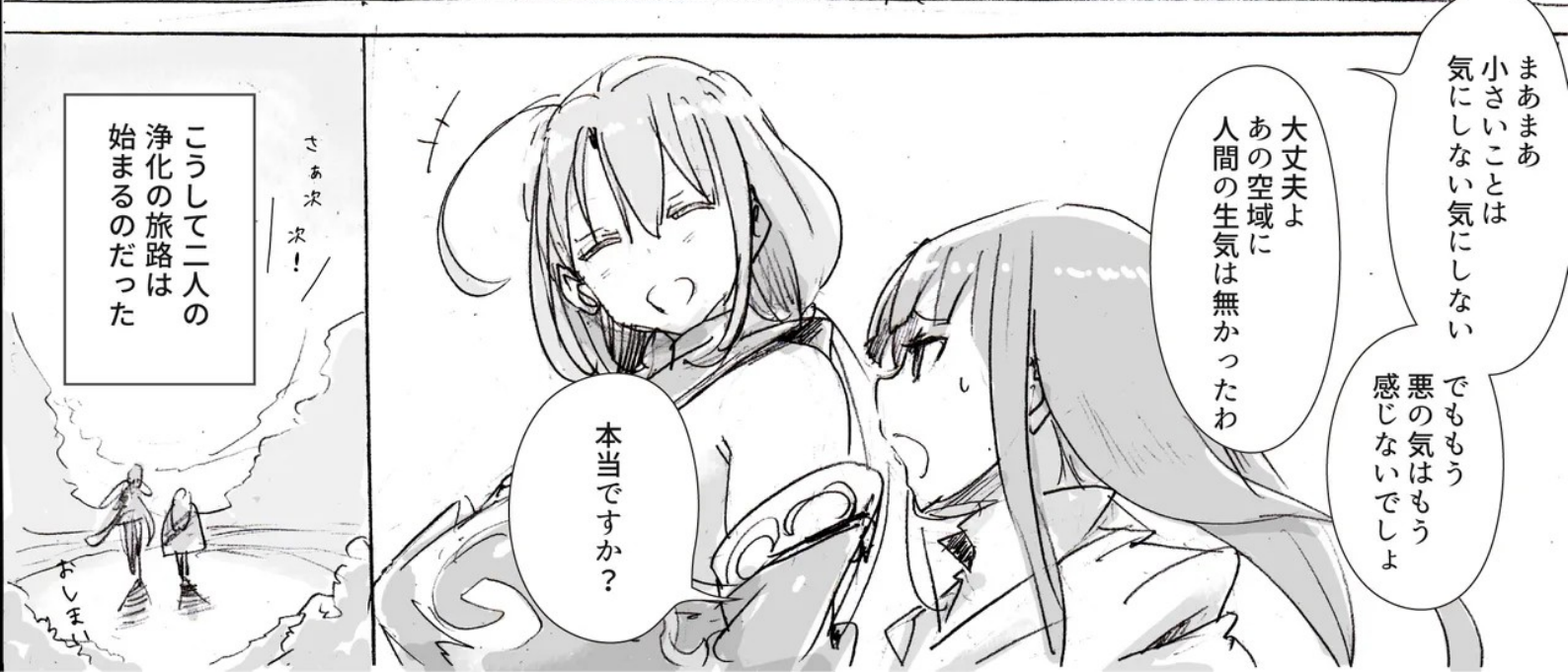
何やっているんですか！

もしあのあたりに
人がいたら
どうするんですか！

ちゃんと
考えて行動してください！

ありや…

加減はした
つもりなだけど…



まあまあ
小さいことは
気にしない気にしない

でももう
悪の気はもう
感じないでしょ

大丈夫よ
あの空域に
人間の生気は無かったわ

本当ですか？

さあ次
次！

こうして二人の
浄化の旅路は
始まるのだった

おしま

おまけ

なるほど…
となり街までは
この道をいけば
いいのか

よし！

ソフィ様
起きてますかー？

あらあら
寝込みを襲おうするなんて
ミルトくんも
積極的になったものね

いいわよ
今日も気がすむまで
いちやいちゃしましよ

そうではなくて
ですね…

隣町まで行って
みようかと思うんですよ
悪霊の話とかがないか
探りに行きたいんです

まあそれはいいんだけどー

その前にやること
あるんじゃない



ソフイ様
もういつちやいそうです

相変わらず
早いわね

でもいいよ
中にだしちゃって

あっ...!だめ、そこを
刺激されちゃうと



いきそうといいながら
一番気持ちいい所を
攻めてくるなんて
なかなかやるわね…

ここが気持ちいいんですね
ソフィ様！

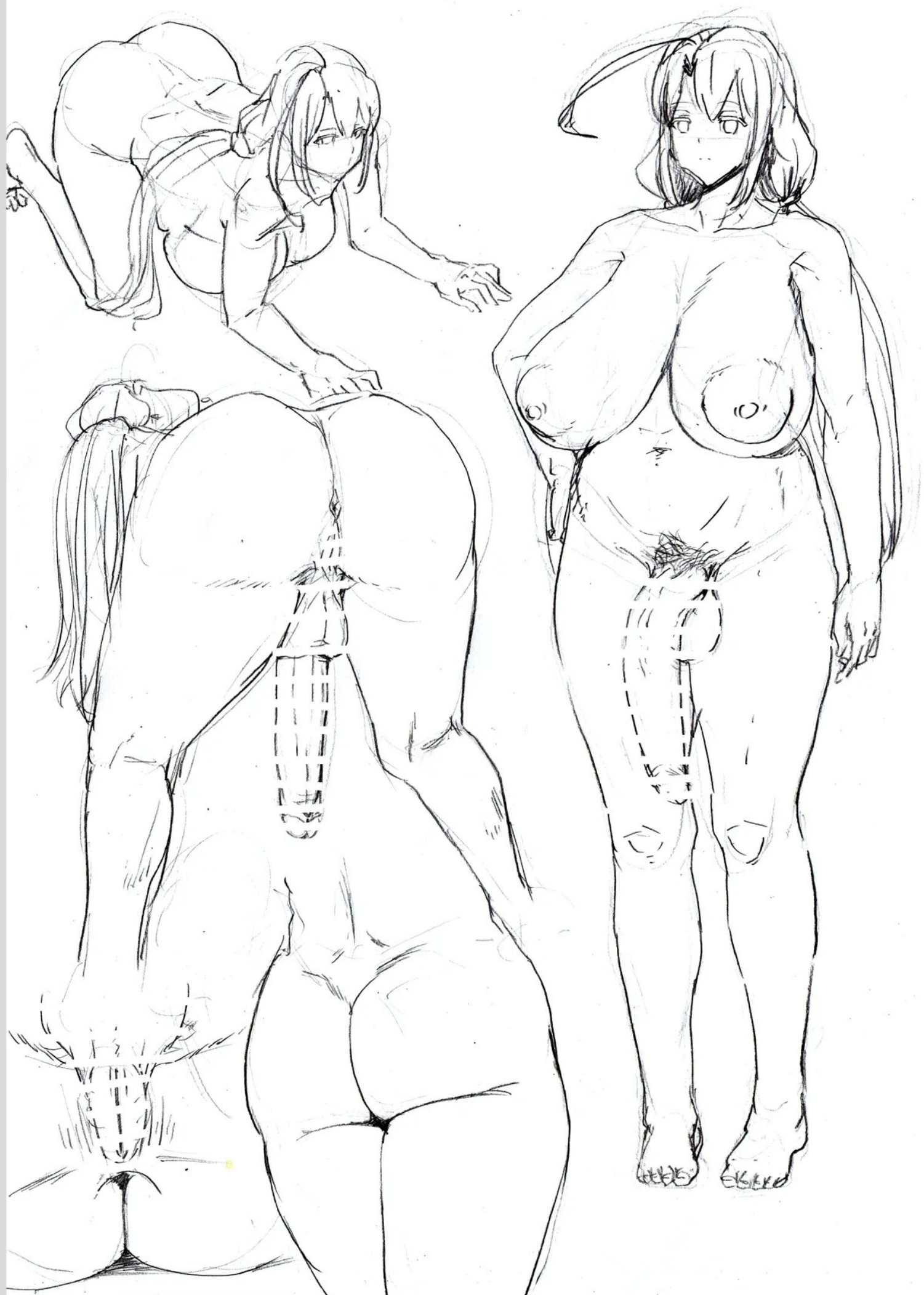
ソフィ様
すごい出てますよ

んふふ…
大分大分上手に
なってきたわね

大分渡り合えるように
なってきたミルト少年だった







【奥付】

発行元：ピコピコサーベル

発行日：Summer 2025



18歳未満の閲覧及び、
無断転載・複製・
webアップロードを禁じます。

この作品はフィクションであり、
実在する人物・地名・団体とは
一切関係ありません。

